

1 研究主題

『歴史的分野における租税教育の可能性』
～近代革命期と現在の税制度の比較を通して～

2 主題設定の理由

今日の私たちの生活は、国や地方公共団体の政策や支援によって成り立っている。具体的には、教育・環境衛生・消防・治安維持・社会保障などの公共サービスやインフラの整備などの活動は、私たちの生活に欠かすことのできないものであり、それらの費用の多くは、税によってまかなわれている。また、本校のある玉浦地区は、東日本大震災により大きな被害を受けた。しかし、現在は玉浦西地区を代表に新しいまちづくりが行われており、これらの活動には、国の復興予算などの税金が大きく関わっている。

2学年の事前アンケート調査の結果を見ると、租税の意義や用途について理解している生徒は少ない。授業においても、現代における租税のしくみや種類といった税に関する知識が乏しいと感じることも多い。また、税に対しては「納めなければならないもの」「とられるもの」といった否定的なイメージを持つ生徒もいるのが現状である。

中学校現場における租税教育の実践例は、第3学年で学ぶ公民的分野の実践に偏っており、1, 2学年段階での学習が少ない。さらに、選挙権が18歳に引き下がったことで、義務教育を終える中学3年間の中での主権者教育の意義は高まってきており、中学校3年間において、継続した租税教育の実践は今後の現代社会を生きる中学生にとって必要不可欠であると考えられる。第2学年での歴史的分野において、過去の税制度と現代の税制度の比較を通して、税の意義について学ばせるとともに、第3学年で学ぶ公民的分野における租税教育の導入になることを考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税の役割や意義について理解を深めながら、税への関心を高める指導のあり方を探る。

4 研究仮説

授業や租税教室（外部人材の活用）を行うことで、税についての理解が深まり、関心が高まるだろう。

5 研究方法

- (1) 税における生徒の事前調査を行う。
- (2) 税理士会の協力をいただき、租税教室を行い、税の目的について理解させる。
- (3) 歴史的分野の授業において、過去と現代の税制度を比較させることで、税の目的について理解を深めさせる
- (4) 税における生徒の事後調査を行い、変容を把握する。

6 研究計画

- 8月 租税教室座談会
- 9月 税に対する意識調査の実施
- 10月 授業実践・租税教室実施
- 10月 税に対する意識調査の実施・研究のまとめ
- 11月 実践発表会

7 研究の概要

(1) 税に関する事前調査の結果 (2学年51名 複数回答可) 平成30年9月3日実施

①あなたが知っている税の種類を教えてください。

| | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ア 所得税 (17名) | イ 消費税 (48名) | ウ 関税 (12名) |
| エ 固定資産税 (11名) | オ たばこ税 (3名) | カ 酒税 (1名) |
| キ 自動車税 (1名) | ク 住民税 (5名) | ケ ポテチ税 (1名) |

②税はどのように (何に) 使っているか知っていますか?

- ・障害のある方や体が不自由な人のため (1名)・公務員の給料 (6名)・国や地方公共団体の建築物の建設や工事 (19名)・教科書 (11名)・年金 (15名)・国のため (8名)・国の借金を返すため (1名)・政治家の政治活動費 (2名)・知らない (4名)・国民のため (1名)

③税金は必要だと思いますか?

必要 (42名) 不必要 (9名)

④税金がなければ生活は楽になると思う。

思う (13名) 思わない (38名)

⑤税金の使い道は誰が決めているか知っていますか?

- ・知らない。分からない (20名)・大統領 (1名)・天皇 (3名)・内閣総理大臣 (13名)
- ・国会 (1名)・税務署 (1名)・国会議員, 県議会議員, 市議会議員 (7名)・国 (8名)

⑥税は誰が払っていますか?

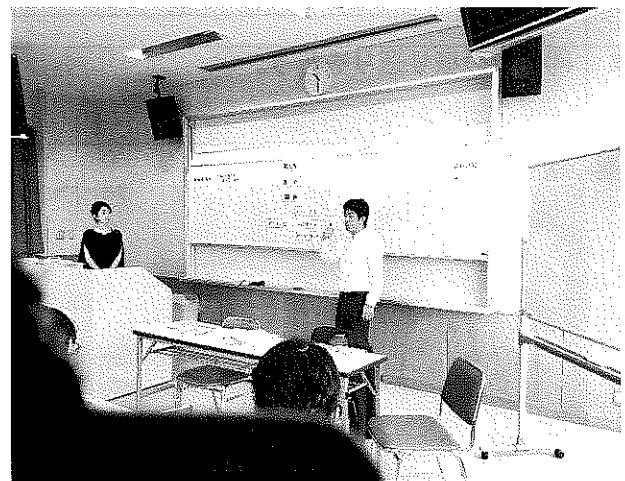
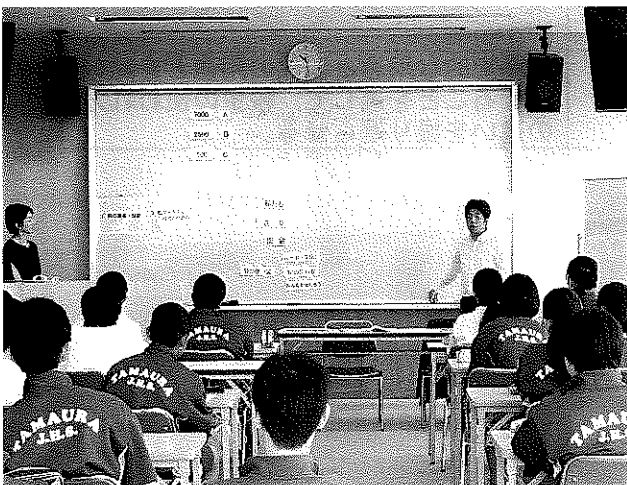
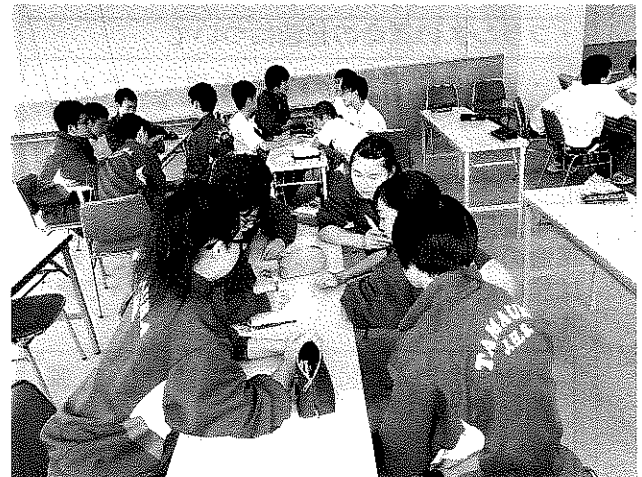
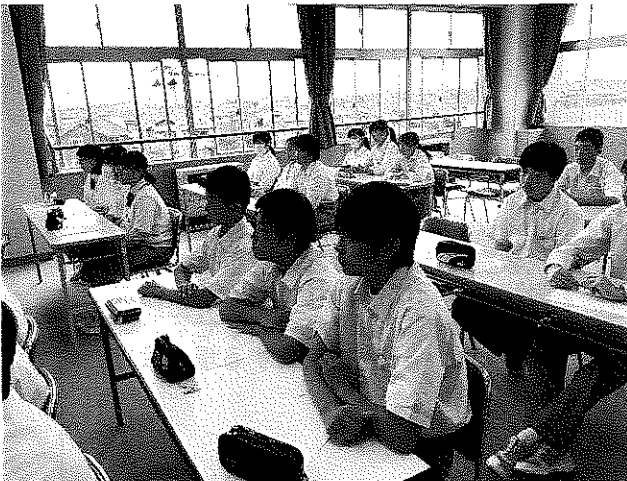
- ・全員 (国民, みんな, 市民含) (27名)・親 (2名)・若い人たち (1名)
- ・車を持っている人 (1名), 店を出している人 (1名)・家族 (2名)・社会人 (1名)

(2) 事前調査の考察

生徒は, 税に関する授業を行っていないこともあり, 税金の使い道やそれを決める組織について理解している生徒は少ない。税がなくなれば生活が楽になると感じている生徒も20%おり, 税が自分たちの生活の負担だと感じている様子も見られた。この結果から税のしくみについて正しく理解させ, 納税意識を高めさせる指導を行うべきだと考える。そのために, 2学年の歴史的分野の授業内で, 税の使い道を過去と比較させることで自分たちのために使われていることに気づかせたい。そして, 3学年の税のしくみの学習につながるように指導し, 中学校3年間を通しての体系的な租税学習を実施したいと考えた。

(3) 租税教室

- 1) 日 時：平成30年10月24日(水)
- 2) 対象生徒：2学年(56名)
- 3) 講 師：鈴木 茂之税理士
：伊藤 美紀税理士
- 4) 目 的：国民一人一人が税の制度や政策に興味を抱き、公正な判断力を育て、税を通して社会を考えることから民主主義に関する理解を深め、主権者として社会に主体的に参画する意志を育むこと。
- 5) 内 容：①税の意義・役割
 - ・税とは何か
 - ・財政②税から考える社会の仕組み
 - ・税の種類
 - ・ゲーム
 - ・税を通して見る民主主義



(租税教室の様子)

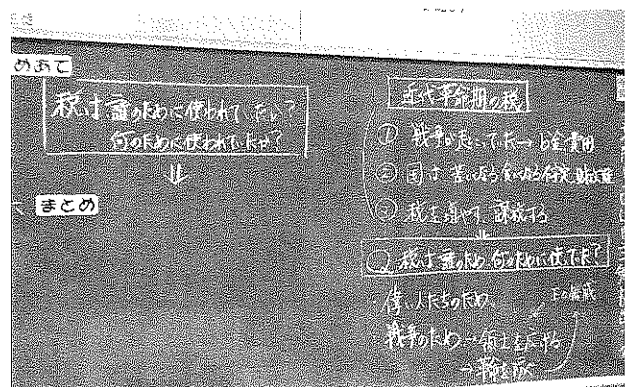
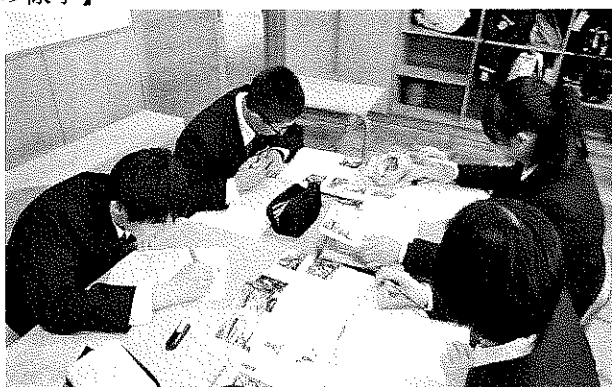
(4) 実践授業 社会科（歴史的分野）2 学年

「歴史的な税の使われ方～近代改革や戦争を事例に～」

- 1) 日 時：平成30年10月24日（水）
- 2) 対象生徒：2 学年対象
- 3) 題材名：「歴史的な税の使われ方～近代改革や戦争を事例に～」
- 4) 指導過程

| 段階 | 学 習 活 動 | 学 習 形 態 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|----|--|---|---|
| 導入 | ①租税教室で学んだ現代の税制度の内容を復習する。 | 一斉 | ①過去の税制度と比較しやすいように、現在の税制度を確認しておく。 |
| 展開 | <p style="text-align: center;">【本時のめあて】 税は誰のために使われているだろうか？</p> <p>②それぞれの国で起こった市民革命の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立戦争の起因について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの財政難に対して、植民地であったアメリカからの課税が実施された。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの革命の起因について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスとの戦争によって財政難となる。それを解決するため、下の身分の者に重税を課す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスの革命の起因について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国王の住居である宮殿を建てるために課税を実施した。 ・イギリスとの戦争によって財政難となる。それを補うために課税を課す。 </div> <p>③学習活動②で復習した各国における市民革命の起因の共通点を思考する。また、税は誰のために使用されていたかについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争によって起きた財政難に対して、課税を行っている。 ・昔の税制度は、王様や戦争のために使われていた。 ・税を納める人も一部の人だけであった。 ・納税した人のために使われていなかった。 </div> | <p>個人 ↓ ペア</p> <p>班 ↓ 発表 (一斉)</p> | <p>②手の止まっている生徒に対して、机間指導を行い、教科書を一緒に読み、読み取るポイントを絞らせる。時間を見て、ペアで確認する時間を確保し、多くの意見に触れ、意見を広げさせたい。</p> <p>④イメージのわからない生徒に対し、租税教室で学んだことを復習させ、現代の税金は何に使われているか、誰のために使っているのか考えさせる。発表を行わせ、一斉で確認する場を設ける。</p> |
| 終末 | ④本時の振り返りを行う。 | 個人 | ⑤歴史的な用途と現代の用途とを比較させることを通して、税金の使われ方の違いを振り返らせる。 |

【授業の様子】



②授業を終えて（生徒の振り返りカードより抜粋）

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

貴族や王様などの一部だけの人や、城、戦争で税金を使わないで、一般の人の生活をより良くするために税金を使ってほしいと思う。

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

昔は税金を納めたりするために税金を仲介する人が出て、国が豊かで平和になるために使用してほしい。
 ・王様や貴族に使うのはよく、国民がこれから生活していくうえで、病院や学校などの施設に使用してほしい。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

今は、国民が議員さんを決め、税金は国民のために使われているが、昔は一部の人だけに使われ、しかも城や戦争に使われていたと思うと、昔の人っていいなあと思った。
 また、二つに分けられることが分かった。税は日本の借金を返すのにも使われていることにびっくりした。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

昔は、戦争に勝つ、たり、城、お城をめぐらるために税金を使っていたが、現在は、国をめぐらるために道路や病院などの施設をつくるために使われているので、昔と今の税の使い方はすごく違って、たのびました。

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

過去のイギリスやフランスなどのような貴族や王様などの偉い人のために使うのはやめてほしいと思いました。やはり、国民が払ったお金なので、そのお金は国民にとって得るものを使いたいと思います。なので、現在のように交通のためや学校、病院など国民が日頃利用するような場面で使うのは大賛成です。これから税は上がっていくと思うかもしれませんが、今のうちに国民にとって良い使い方をしたいと思っています。

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

・高齢者、子供で親がいない人、体に障害があり働けない人など、生活が苦しい人たちのために使いたい。
 ・昔の税の使い方を学び、国民のためではないかと思いました。なので、現在のように、病院や学校などの国民のための税金の使い方を続けてほしい。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

昔からある税でも今とは全く使い方が違うと思いました。税は国民一人一人が払う大事なお金なので、身分が上だから特別扱いというところはやめてほしいです。身分が上の人だけ幸せなのはおかしいので、皆が平等に幸せを感じ、あたり前のように暮らせるようにしてほしいと思います。未来の日本のためにより良い税金の使い方をしたいと強く思いました。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

税について、しっかり学び、今まで知らなかった税の種類や使い道、歴史について学ぶことができました。最初に税の種類を学ぶ時は、何で税金を徴収しているか、思いましたが、その税の使い道を国民のためにと理解することができました。また、税の歴史を知り、税は国民のためのものだと思えて感じました。

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

・現在の税の使われ方のような国民のため
 ・老後の生活のため
 ・教育費のため
 ・被災地の復興のため
 ・安定した生活のため
 ⇒ 国民のための

あなたが納めて税金をどのように使用してほしいと思いましたか？

上人という限られた人がぜいたくして、使用してもらうよりも、国民一人一人が過ぎしやすくなるように、使用してほしい。その方が、自分も過ぎしやすくなる。障害者の方でも不自由なく暮らせる生活をするのができるような気がする。
 目的を持って使用してほしい。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

・今と昔は全く税金の使い方が違うと思う。昔は身分の階級によって使われていたと思う。
 ・税の種類が色々あることにびっくりした。

今日の授業を（今と昔の税金の使い方）振り返って、感想を書こう。

今日の授業を振り返り、税金の使い道が、かなり良くなったな、と改めて思いました。昔のヨーロッパは特に、身分の低い人を利用して、税をたくさん納めさせることが、許されていた、と思います。その税金で、今長20kmほどの宮殿をつくらせる人が、今では信じられない、とも思っています。これからは、昔のような使い方をせず、国民一人一人が税を納め、不平等ではない国づくり、国が暮らせるような国づくりをしてほしいです。

(5) 税に関する実態事後調査の結果 (55名 複数回答可) 平成30年10月29日実施

①あなたが知っている税の種類を教えてください。

| | | | | | |
|---|-------------|---|------------|---|-----------|
| ア | 所得税 (24名) | イ | 消費税 (49名) | ウ | 関税 (12名) |
| エ | 固定資産税 (24名) | オ | たばこ税 (25名) | カ | 酒税 (24名) |
| キ | 自動車税 (18名) | ク | 住民税 (21名) | ケ | ポテチ税 (1名) |
| ク | 法人税 (2名) | | | | |

②税はどのように (何に) 使っているか知っていますか?

- ・障害のある方や体が不自由な人のため (8名)・高齢者 (年金や介護含) のため (15名)
- ・公務員の給料 (3名)・国や地方公共団体の建築物 (学校・病院・道路など) の建設や工事 (37名)
- ・教科書 (11名)・国の借金を返すため (1名)・治安の維持 (2名)・救急車 (6名)
- ・国のため (9名)・国民やみんなのため (17名)

③税金は必要だと思いますか?

必要 (54名) 不必要 (1名)

④税金がなければ生活は楽になると思う。

思う (8名) 思わない (47名)

⑤税金の使い道は誰が決めているか知っていますか?

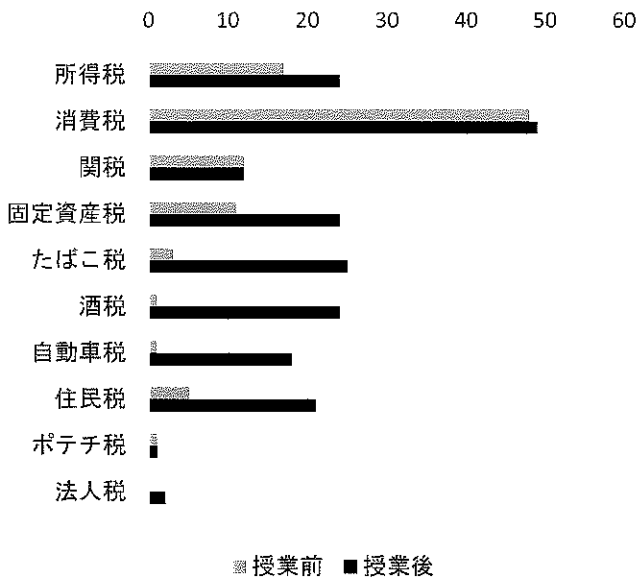
- ・知らない。分からない (1名)・内閣総理大臣 (5名)
- ・国会 (4名)・国会議員, 県議会議員, 市議会議員 (21名)・国民 (16名)・国民が選んだ人 (3名)

⑥税は誰が払っていますか?

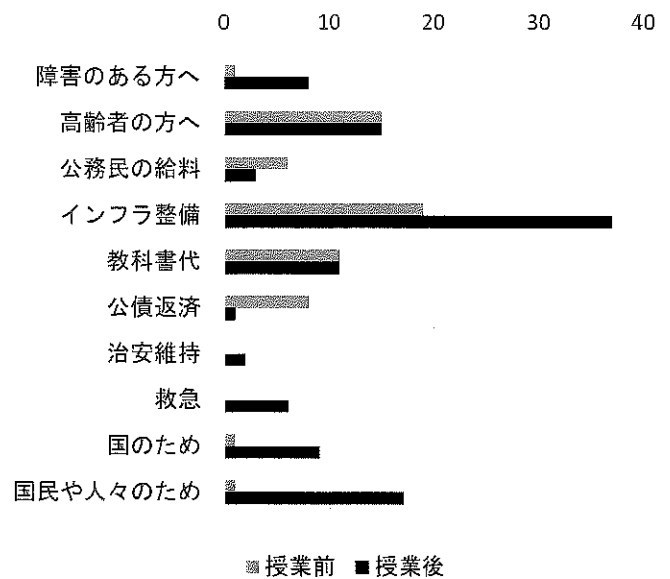
- ・全員 (国民, みんな, 市民含) (53名)・親 (2名)

8 税に関する意識の変容

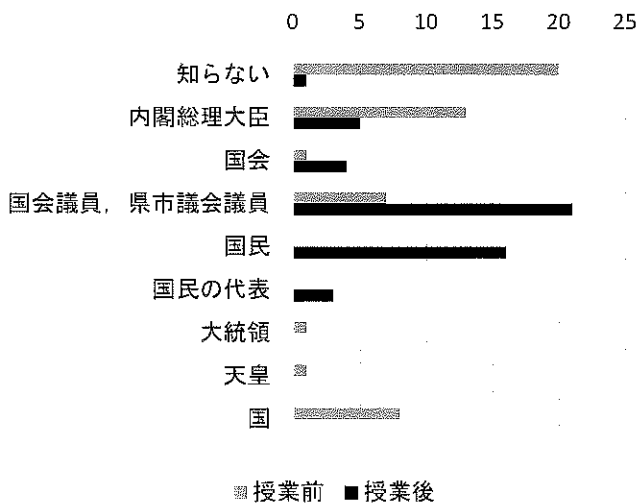
生徒の知っている税の種類 (単位：人)



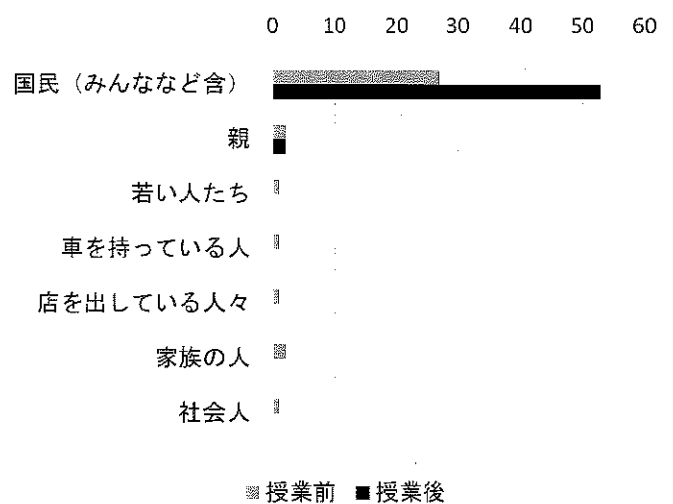
税の使われ方について (単位：人)



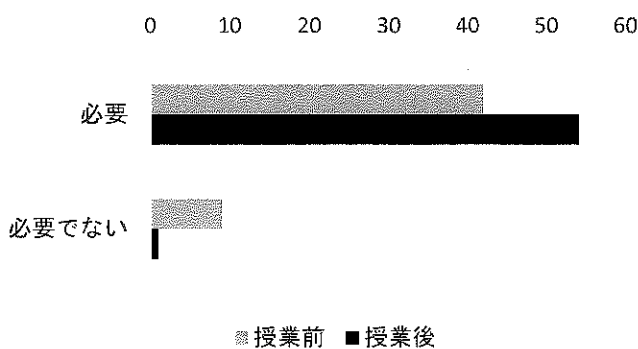
税金の使い道は誰が決めているか (単位：人)



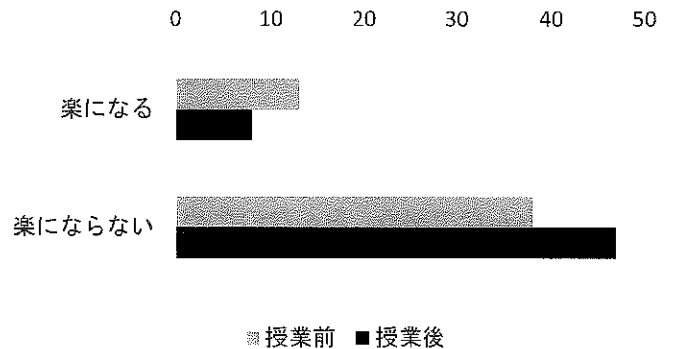
税金は誰が払っているか (単位：人)



税金は必要か (単位：人)



税金がなくなれば生活は楽になるか (単位：人)



9 成果と課題

(1) 実態調査から (参照 : P33)

租税教育の実践前(9月)に実施した実態調査と租税教育後(11月)を比較すると、生徒一人一人の知っている税の種類が明らかに増えている。また、税金の使い道について、国民や人々のためと回答する生徒が増加していることから、税金が自分たちにも使われているということに気づけた生徒が増えたことが読み取れる。さらに、税金の使い道を決めるのは、国民や国民が選んだ国会議員や県議会議員だということを理解した生徒が増えており、税金は知らないところで使われているのではなく、国民の民意によって決められているということに気づかせることができた。税金は必要ないと思っていた生徒や税金がなくなれば生活が楽になると思っていた生徒が減っていることから、税金によって私たちの生活がよりよくなっていると感じさせることができた。しかし、実践後も税金は生活を苦しめていると感じる生徒も相変わらず残っていたり、税金の使い道を決めるのは、自分とはほど遠い人物だと思っている生徒もおり、理解が不十分であった点も挙げられた。

(2) 授業実践から (参照 : P30-⑤)

かつての税は、王様や貴族の生活のために使われていたり、戦争の費用として集められたりしていたことに驚く生徒が多くいた。そのことから、税金は誰のために納めるべきなのか、何に使うべきなのか、自分の意見を記述する生徒も見られ、税金のあり方について考える様子が見られた。また、過去との比較を通して現代の税制度について何に使用されているのかについて調べる生徒もおり、3学年での公民的分野の学習につなげることができたのではないかと思う。

(3) 今後の指導に向けて

今回の租税教育では、2学年における租税教育のあり方について実践した。租税教育というと中学校では3学年で行うものというイメージが強く残っているが、本実践を通して、1学年、2学年と中学校3年間を見通した租税教育の体系化が必要であると感じた。課題も数多く残る形となったが、今後、今回2学年で学んだことが、来年どのような形で生きていくのか、租税教育の指導を継続して行い、よりよい主権者となるよう、また学習指導要領の定める社会科の目指す公民の育成に尽力していきたい。

租税教育を終えた生徒の感想

- ・国民が便利で幸せな生活を送るのに、税金が関わっていると分かったから税金は必要だと思った。
- ・私たちの周りには、税金のおかげで生活できていることが分かった。
- ・税金がなくなって私たちが日常生活で使っている施設にお金がかかると、環境が悪くなっていくと思う。
- ・生きていく上で必要なものに税金が使われているから必要だと思う。
- ・税金がないと暮らしていけない。
- ・税金は必要だと思った。理由はみんなが安心して生活できなくなるから。
- ・税金がないと自己負担が増えて、生活が不便になったり、暮らしていけなくなると思った。
- ・一年あたり一人の教育費に100万円近くかかっていることを知り、学校に通えなくなると思った。
- ・何でこんなに税をとるのか分からなかったが、使い道を知って、国民のためだと理解し、納得した。
- ・税金は大切なお金なので、昔のように身分の上の人だけに使うのはやめてほしいと思った。未来の日本のために、よりよい使い方をしてほしいと思った。
- ・税金はみんなが納め、みんなのために使うべきだと思った。
- ・自分が納得する税金の使い方をしてくれる人に投票しようと思った。